

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

十和田市まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

青森県十和田市

### 3 地域再生計画の区域

青森県十和田市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の人口は2000年の69,630人をピークに減少が続いており、令和元年(2019年)は61,067人となっている。平成12年(2000年)と令和元年(2019年)を比較すると12%減少しており、通減の一途を辿っている。国立社会保障・人口問題研究所の推計においても、2060年には30,388人まで減少するとされている。

自然増減については、平成15年(2003年)までは出生数が死亡数を上回る自然増が続いていたが、平成16年(2004年)以降は逆転し自然減が続いており令和元年(2019年)には出生数344人に対して死亡数882人となっている。社会増減については、平成6年(1998年)から平成8年(2000年)を除き、転出が転入を上回る社会減が続いており、令和元年(2019年)には転入者数1,781人に対して転出者数1,893人となっている。

人口減少が進むことにより、労働力人口の減少による社会経済活動の衰退や地域の担い手の減少による地域活動の停滞などが懸念される。

上記の課題に対応するため、誰もが本市に住みたくなる、地域愛と魅力にあふれるまちとなるよう、市民、地域、団体、企業、行政など市全体でこの総合戦略を共有し、まち・ひと・しごと創生に向け、本市ならではの地域特性を踏まえた取組を推進する。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標 1 ～十和田で“想い”のある仕事を～  
地域の特性に応じた産業の成長と、安心して働ける環境の実現
- ・基本目標 2 ～十和田で豊かな人生を～  
地域への新しいひとの流れをつくる
- ・基本目標 3 ～十和田ではぐくもう人間愛を～  
結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 4 ～十和田で育てよう地域愛を～  
人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	観光消費額	547億円	590億円	基本目標 1
	農業産出額	2,442千円	2,608千円	
イ	社会増減数	▲125人	▲60人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.45	1.66	基本目標 3
エ	介護保険制度の要支援1・2 の方の維持・改善率	90.1%	92.0%	基本目標 4
	居住誘導区域内の人口密度	32.6人/ha	32.6人/ha	

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

十和田市まち・ひと・しごと創生事業

- ア 地域の特性に応じた産業の成長と、安心して働ける環境の実現事業
- イ 地域への新しいひとの流れをつくる事業
- ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
- エ 人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

## ② 事業の内容

### ア 地域の特性に応じた産業の成長と、安心して働ける環境の実現事業

域内で生産したものを域内で消費する地産地消に加え、域内で生産したものを域外から買ってもらう地産外商の考え方を基に、域内での調達を高めるとともに、地域の稼ぐ力を拡大する取組を進める。具体的には、行政、市内の様々な産業団体、企業などによる連携体制の構築を基礎とし、地域資源の発掘、磨き上げによる魅力ある地域産業づくりに取り組むとともに、新たな取組への挑戦や創業しようとする事業者の意欲向上につながる取組を支援する。また、多様化する価値観やライフスタイル・ワークスタイルも踏まえ、誰もがその力を発揮できる就業環境や自分の居場所を見出せる環境づくりを通じて、しごとの場であり生活の場である地域全体の魅力を高めていく。

#### 【具体的な取組】

- ・とわだ製品の認知度向上及び販売拡大
- ・雇用・就労の支援 等

### イ 地域への新しいひとの流れをつくる事業

首都圏の移住相談内容では、自身や家族とつながりがある地域への移住希望割合が比較的高いことから、本市への移住を働きかけるメインターゲットを、本市出身者のUターン希望者に設定し、Uターン希望者の要望に応えられる受入支援体制を構築する。市民が、市外にいる家族・友人などの移住候補者を呼びよせ、移住者が地域と連携し、新たな移住者を呼び込む仕組みをつくる。

#### 【具体的な取組】

- ・関係人口の創出・拡大

- ・ U I J ターン就職支援 等

#### ウ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

若い世代が希望どおりに結婚し子どもが持てるように、出会いから結婚、妊娠から出産、子育てに至るまで切れ目のない一貫した支援を充実するとともに、子どもや子育てを地域全体で見守り、継続して支援できる環境づくりを進める。また、出会いから結婚、出産・子育てに至るまで、各分野における民間企業・団体と連携調整のうえ、長期的視点に立った検討を進める。

##### 【具体的な取組】

- ・ 民間活動団体等を主体とする仕組みづくり支援
- ・ 安心して子どもを産み育てられる環境づくり 等

#### エ 人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業

市民がより良い健康習慣を身に付けるための取組を促進するとともに、持続可能な都市機能の維持を推進する。また、市民や地域づくりに関わる多様な団体が、主体的に考える対話の場づくりを進めるとともに、地域の暮らしを支える自治組織の立ち上げや人材の育成などの基盤を強化し、活動が促進される仕組みづくりを進める。

##### 【具体的な取組】

- ・ 生涯にわたる健康の増進
- ・ 広域自治組織の育成 等

※なお、詳細は、第2期十和田市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

#### ③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の数値目標に同じ。

#### ④ 寄附の金額の目安

2,000,000円（2020年度～2024年度累計）

#### ⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

（評価の手法）

事業の実施状況及び効果等について、産官学金労言等から構成される「十和田市外部評価委員会」において検証し、PDCA サイクルを継続することにより事業の見直しや改善を図る。

※「十和田市外部評価委員会」

…十和田市町内会連合会、十和田市社会福祉協議会、とわだ市民活動ネットワーク、十和田おいらせ農業協同組合、十和田商工会議所、北里大学獣医学部、金融機関（青森銀行、みちのく銀行）、ハローワーク三沢（十和田出張所）、連合青森上十三地域協議会、報道機関（東奥日報、デーリー東北）

（評価の時期・内容）

毎年度 9 月頃に外部有識者「十和田市外部評価委員会」による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。

（公表の方法）

毎年度、市ホームページでの公表を行う。

## ⑥ 事業実施期間

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

### 5-3 その他の事業

#### 5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

#### 5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

## 6 計画期間

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで